

長野工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	都市デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	0027		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	生産環境システム専攻		対象学年		専2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：桑野園子編「音環境デザイン」コロナ社，参考書：日本騒音制御工学会編「地域の音環境計画」技報堂出版，建築学会音シンポジウム資料						
担当教員	西川 嘉雄						
到達目標							
都市デザインとして都市空間に望まれる音環境を説明できること。特に，その都市空間にふさわしい音環境を「景観への調和・騒音制御・信号音や音声情報の伝達など」の視点で説明ができる。以上の内容を満足することで学習・教育目標の(D-1)及び(D-2)の達成とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		都市計画法による用途地域と都市計画事業を理解し，具体的な都市計画の事例を説明できる。		都市計画法による用途地域と都市計画事業について説明できる。		都市計画法による用途地域と都市計画事業について説明できない。	
評価項目2		都市空間に望まれる音環境を説明でき，それぞれの空間に適切な音環境の目標を設定できる。		都市空間に望まれる音環境を説明できる。		都市空間に望まれる音環境を説明できない。	
評価項目3		騒音制御・信号音や音声情報の伝達などの最適な状況について説明でき，適切な目標設定や設計が出来る。		騒音制御・信号音や音声情報の伝達などの最適な状況について説明できる。		騒音制御・信号音や音声情報の伝達などの最適な状況について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		都市デザインのあり方を，都市空間における音環境の快適性と情報伝達を題材とし習得する。まず，都市計画法の用途地域や都市計画事業について理解する。さらに，都市空間における音環境の現状を理解し，騒音制御・信号音や音声による情報伝達・サウンドスケープ手法などを用いて景観に調和した音環境の創造について考える。					
授業の進め方・方法		講義は，概要の説明後に，各自調査や資料収集を行いレポートを作成する。また，音環境測定や信号音の作成などを行い報告書をまとめる。					
注意点		<成績評価> 試験（70%）および教科書を基に適宜出題するレポート・報告書（30%）の合計100 点満点で学習・教育目標の（D-1）及び（D-2）を評価し，合計の6 割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。 <オフィスアワー> 毎週水曜日16：00～17：00，環境都市工学科，西川教員室。この時間にとらわれずに必要に応じて来室可。 <備考> 常に街をある行くときなどは，都市空間と音環境のかかわりなどを意識することが重要である。なお，本科目は学習単位であり，授業時間30時間に加えて，自学自習時間60時間が必要です。					
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	都市計画法			都市計画法による用途地域と都市計画事業について説明できる。	
		2週	都市空間の音環境の概要／公共空間の音環境			都市空間の音環境の基礎事項として，公共空間の分類が説明できる。	
		3週	騒音による生理的・心理的影響			環境が都市の印象に与える影響，生理・心理的影響について説明できる。	
		4週	会話・作業・聴取妨害			音の評価にかかわる基本事項について説明できる。	
		5週	都市空間の音環境に関する法規制			国際規格や国内法規（環境基準や騒音規制など）の概要を説明できる。	
		6週	都市空間における音環境の実態/調査方法・評価方法			音環境の調査方法，目的，結果の考察方法についての確に説明できる。	
		7週	交通機関（駅，空港・乗り物など）			音環境の調査結果により，その場に応じた望ましい音環境について説明できる。	
	8週	商店街・地下街・商業施設			音環境の調査結果により，その場に応じた望ましい音環境について説明できる。		
	4thQ	9週	公共施設・公園・緑地			音環境の調査結果により，その場に応じた望ましい音環境について説明できる。	
		10週	都市空間の信号音のデザイン/危険・情報を知らせる音			警告音，サイン音，報知音や音声による避難情報などの特徴を説明できる。	
		11週	高齢社会に配慮した音			高齢者の聴覚特性を考慮した信号音について説明できる。	
		12週	景観と音の相互作用			景観と音の関係の概要を説明できる。	
		13週	視覚と聴覚の相互作用の基礎知識			視覚と聴覚が景観に及ぼす影響を説明できる。	
		14週	音が景観に及ぼす影響			音が景観に及ぼす影響について説明できる。	
		15週	サウンドスケープデザイン			サウンドスケープの概念を説明できる。	
16週		達成度の確認					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0